

2019環境経営レポート

実施期間：2019.01～2019.12

ECO VALVE

配管システムの省スペース化、軽量化に

BSシリーズ



日本バルブコントロールズ株式会社

発行 2020年02月28日

目次

1.	環境方針	-----	1
2.	会社概要	-----	2
	(1) 事業所	-----	2
	(2) 事業活動の内容	-----	2
	(3) 事業規模	-----	2
	(4) 沿革	-----	2
	(5) 組織図	-----	3
	(6) 連絡先	-----	3
3.	環境目標	-----	4
4.	活動計画と実績、次年度の取り組み		
	(1) 主な活動と評価	-----	4～5
	(2) その他の取組	-----	6
	(3) 次年度の取組	-----	6
5.	法規の遵守と環境問題訴訟の有無	-----	7
6.	代表者による全体評価と見直しの結果	-----	7

環境理念

当社は、地球環境を守る事を最優先課題の一つとし、環境保全に適した弁・自動弁・制御機器の開発と生産に努め、製品販売する事で環境負荷の低減活動に全員で取り組みます。

環境方針

- (1) 環境に配慮した製品の提供に努めます。
製品の長寿命化や、省資源、省エネルギー設計や、有害化学物質の排除、削減に取り組みます。
- (2) 関係する環境法規とその他の要求事項を遵守します。
環境関連の法律、規則、協定等を遵守し、環境管理システムを継続的に改善し推進します。
- (3) 環境に配慮した企業活動に努めます。
工場・事務所及び生産工程のムダをなくし、省エネと資源の有効活用を推進します。
当社はグリーン調達に取り組みます。
- (4) 環境意識の向上
全社員の環境意識の向上を図ると共に、ひとりひとりが、環境保全活動を出来る様、啓発を行います。
- (5) 地域社会への貢献
地域社会の環境保全活動の参画、支援に積極的に取り組みます。

この方針は全従業員に周知し、社外へも公表します。

制定 2008年6月2日
日本バルブコントロールズ株式会社
代表取締役 **船見昭夫**

2. 会社概要

弊社は1981年の発足以来、自動弁の専門メーカーとして、配管システムの自動化に取り組んでまいりました。

低価格で高品質の自動弁のニーズが高まるなか、いち早く自動弁の開発とそのコストダウンを進め、今日では数多くの実績と各方面のご愛顧を頂いております。

対象範囲	(認証・登録範囲)
基準	エコアクション21ガイドライン 2017年版 全組織・全活動を対象

(1) 事業所

事業所名	日本バルブコントロールズ株式会社 本社・事業本部
所在地	名古屋市中村区名駅南1-21-19 名駅サウスサイドスクエア 10F
事業所名	日本バルブコントロールズ株式会社 瑞浪工場
所在地	岐阜県瑞浪市山田町2001番地

(2) 事業活動の内容

弁、自動弁、制御機器の製造と販売

(3) 事業規模

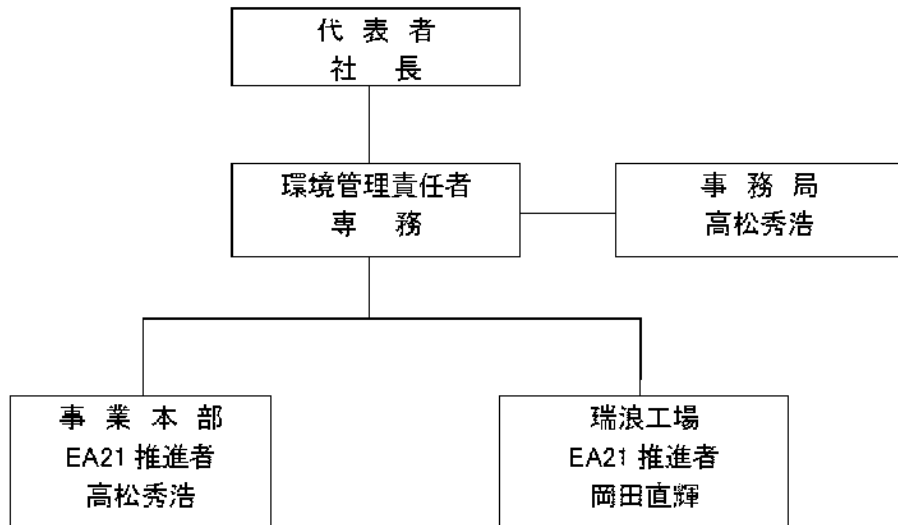
売上高	2,812	百万円	(2019年1-12月)	前年比6.0%減
従業員数	44	名	(2019年12月末)	
延べ床面積	本社・事業本部	638	m ²	
	瑞浪工場	7,846	m ²	

(4) 沿革

1981年	10月	日本興産(現株式会社ヴァルテック)から分離発足 コントロールバルブの販売を開始
1997年	4月	本社を愛知県稲沢市へ移転
2005年	8月	瑞浪工場(岐阜県)開設
2008年	4月	事業本部を現住所に移転
2009年	6月	試験棟を瑞浪工場敷地内に建設
2009年	8月	エコアクション21認証登録
2010年	1月	中国上海市に販売拠点 Vpro Trading (Shanghai) Corp.を開設
2011年	10月	瑞浪第2工場増設
2016年	4月	シンガポールに販売拠点 Vpro Control Pte. Ltd を開設
2017年	3月	瑞浪第3工場増設 試験棟を第3工場内に移設
	4月	瑞浪工場内にテクニカルセンターを開設

(5) 組織図

環境管理委員会



役割・責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	社長	環境方針作成、環境管理責任者任命、資源用意、システム見直し
環境管理責任者	専務	環境総責任者、環境マネジメント構築・運営、実績の総括 システム適合性、運用状況監査
事務局		全体計画の立案、文書作成・管理、環境教育計画・実施、環境マネジメント事務管理
EA21推進者		EA21運用実施、実施状況の確認・記録
社員		手順書に従い、運用の実施

(6) 連絡先

代表取締役 社長 船見昭夫
環境管理責任者 船見治夫
事務局 高松秀浩
連絡先 TEL:052-582-6435(代) FAX:052-582-6439
E-mail:jamp@valco.co.jp

3. 環境目標

- ① 当社では、今年もエコロジー、エコノミーの両立をめざし、排出する廃棄物の分別細分化により有価リサイクルを行い、最終処分廃棄物を削減します。
分別状態が不十分になるとこの水準を維持することが出来なくなる為、90%以上を維持出来る様、チャレンジしています。
- ② 購入電力の削減と社用車で消費されるガソリンを対象に、CO₂ 排出量の削減に取り組みます。
電力消費量は年間約 8%の生産量の増加が見込まれる中、圧縮して 5%の増加を見込んでいます。
- ③ 生産活動により消費される水使用量の削減に取り組みます。
- ④ 製品に含まれる環境負荷規制物質の削減に取り組みます。
- ⑤ グリーン調達の実施と、新たに採用する資材にはより環境負荷物質の少ない物を採用、梱包資材には有害化学物質を低減し、リサイクルやリユースのし易い物を採用します。

目標項目	2018年 実績	2019年 目標	中期目標		
			2020年	2021年	2022年
① 廃棄物リサイクル率 (%)		90.0	90.0	90.0	90.0
② CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	121,405	124,597	130,402	136,498	143,836
ガソリン使用量の削減(L)	2,398	3,657	3,657	3,657	3,657
購入電力使用量の削減(kWh)	231,704	233,616	245,296	257,562	270,440
③ 水使用量削減 (m ³)	456	480	480	480	480

※CO₂の算定には平成 26 年度中部電力の実績に基づく実排出係数 0.497 (kg-CO₂/kWh) を使用。
 ※中期目標は生産量の増加分として、工場電力増加を年間 5%の増加として見込んでいます。
 ※ガソリン使用量について、2019 年以降の目標は 2015 年実績値の維持、削減を目標にしています。

4. 活動計画と実績、次年度の取組

(1) 主な活動と評価

- ① 廃棄物リサイクル率の改善 (%) 分別の細分化による産業廃棄物の資源リサイクルを推進する。

目標値	90.0 %	活動項目	評価
実績	95.4 %	分別の徹底による産業廃棄物の資源リサイクル化	○: 分別によるリサイクルが出来ている。
増減率	5.4% 減	事業系一般ゴミの分別による再資源化	○: 両面使用した紙は再生紙へ分別出来た。
		裏紙の使用による、有効活用	○: 社内文書として利用。

- ② 年間 CO₂ 排出量の削減 (単位: kg-CO₂) 生産量が増加しても CO₂ 排出量の現状を維持する。

目標値	124,597	活動項目	評価
実績	118,108	時間外は無人箇所の照明・空調をOFFする	○: 良
増減率	5.2% 減	不要な照明・空調をOFFする	○: 良
		空調温度の管理(暖房 20 度、冷房 28 度)	○: 良
		社用車の使用を控え、公共交通機関の利用を心がける	○: 良
		社用車に「エコ運転のお願い」ラベルを貼付し、注意喚起する	○: 良

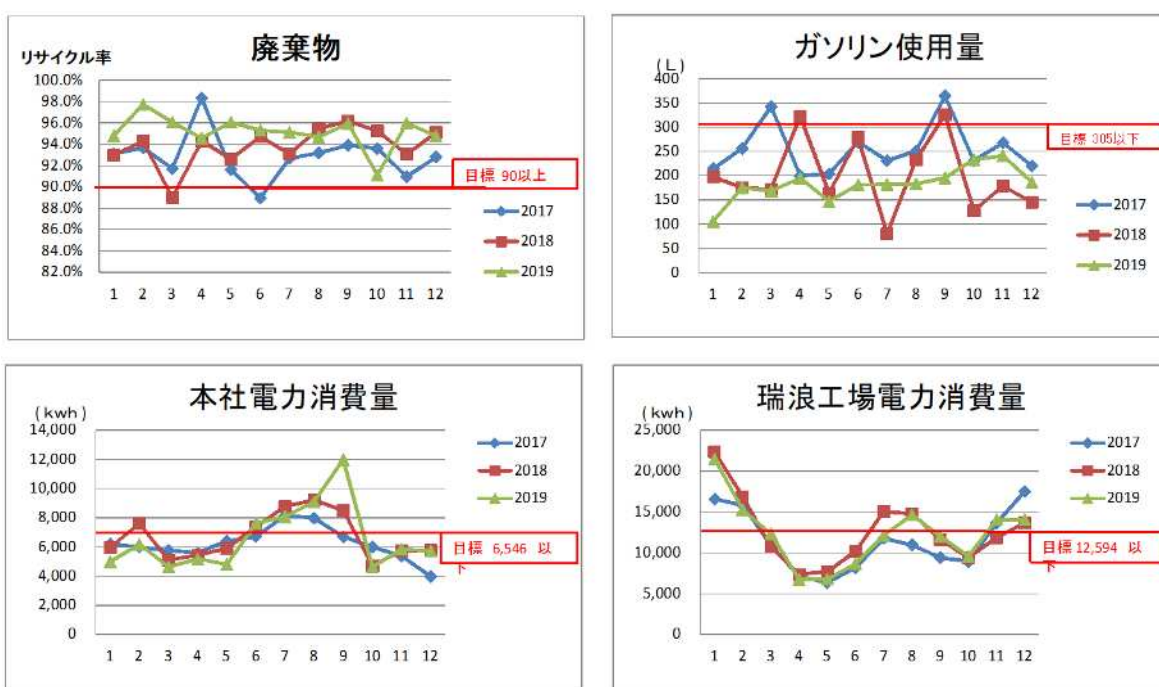
- ・ 猛暑の影響による空調電力の増加により、電力消費量が増加した。

- ・ 本社の消費電力は+0.3%の増加、原因は試験研究用電力の一次的な増加と判明しています。
- ・ 瑞浪工場の消費電力は、前年比-4.7%の削減ができました。

数値実績（全社）

CO ₂ 排出量	目標値	実績	増減量	増減率(%)
ガソリン (L)	3,657	2,194	-1,463	-40.0
CO ₂ 換算 (kg-CO ₂)	8,484	5,090	-3,394	
消費電力(kWh)	233,616	226,493	-7,123	-3.0
CO ₂ 換算 (kg-CO ₂)	116,107	112,567	-3,540	
その他のCO ₂ (LPガスなど)		459		
CO ₂ 排出量の合計(kg-CO ₂)	124,597	118,117	-6,480	-5.2

※CO₂の算定には平成 26 年度中部電力の実績に基づく実排出係数 0.497(kg-CO₂/kWh)を使用。
CO₂削減の取り組みには、主たる電力とガソリンに絞り、取り組みました。



③ 水道水使用量の削減 (m³)

目標値	480 m ³	活動項目	評価
実績	450 m ³	水道管からの漏洩を定期的に確認する	○：節水の徹底により目標達成出来ました。
増減率	6.3% 減		

④ 製品に含まれる環境負荷規制物質の削減

目標	製品に含まれる規制物質の調査の実施
評価	○

追加された規制物質の含有調査と削減方針の策定。

⑤ グリーン調達

:環境負荷の少ないものづくり

目標	リサイクルしやすい緩衝材の採用
評価	○

梱包用緩衝材として生分解性の袋詰めパック緩衝材や、段ボールを採用しています。

(2) その他の取り組み

⑥ 梱包資材の削減

前年実績	40,917 kg
実績	49,044 kg
評価	×

出荷量増加に伴い、前年実績比 20%の大幅増加となりました。
リサイクルし易い紙製緩衝材の比率が増加している為と考えています。

⑦ コピー紙使用量の削減

前年実績	818 kg
実績	796 kg
評価	○

社内文書へ裏紙を利用するなど、コピー紙の消費削減をする取り組みの結果、前年比-2.7%の削減となりました。

⑧ 事務所から排出される事業系一般ゴミの中から使用済みコピー紙のリサイクルに取り組んだ結果、総排出量 1,820 kgから、1,143 kgの再資源化をする事が出来ました。

⑨ 地域社会への貢献

工場周辺の環境保全活動として地域の草刈りや清掃に積極的に参加しています。

・その他

管理の必要な化学物質について、2020年2月現在取扱いはありません。

(3) 次年度の取組

- ① 廃棄物の削減 : 分別リサイクルと紙使用量の削減に取り組みます。
- ② CO₂ 排出量の削減 : これまでの活動継続に取り組みます。
- ③ 水の使用量の削減 : 水消費量削減等、他の取り組みに付いては継続活動します。
試験装置に雨水利用設備を設置し、利用します。
- ④ 環境負荷規制物質の削減を更に推進します。
- ⑤ グリーン調達 : これまでの活動を継続し、取り組みます。

5. 法規の遵守と環境問題訴訟の有無

法規遵守状況の評価

環境関連法令は「法的要求事項一覧表」に適用する法令等として取りまとめ、遵守状況を確認しました。

環境法規制名称	適用範囲	遵守事項	遵守評価 2019/2/28
廃棄物処理法	一般廃棄物	・許可確認	遵守
	産業廃棄物	委託基準 ・許可証の確認(収集運搬及び処分) ・委託契約書 マニフェストの交付及び管理 ・処理場の現地確認 ・処分状況の確認	遵守
家電リサイクル法	特定家電品廃棄物	販売店にリサイクル料金の支払い 特定家庭用機器廃棄物管理票	遵守
自動車NOx・PM法	自動車の使用	自動車からの排ガス抑制の努力 燃料使用量の把握	遵守
下水道法	一般排水・洗浄水の排出	特定事業場に該当しない	遵守
フロン排出抑制法	業務用冷凍機器	四半期に1回以上の簡易点検を行う	遵守
欧州RoHS指令	製品への規制物質管理	規制物質の排除又は削減管理	遵守
工場立地法	工業団地準則5条、6条	工場集合地内緑地面積の算入特例適用	遵守

・過去3年間環境問題に関する違反、苦情、訴訟等の指摘は1件もありませんでした。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境マネジメントシステムの状況は、概ね問題無く機能していると評価しています。

評価・見直し実施 : 2020年2月28日 代表取締役 社長 船見昭夫

次回、「2020環境経営レポート」発行は、2021年3月頃を予定